



ハンセン病療養所
世界遺産
登録推進協議会

キャッチフレーズ・ロゴマーク

キャッチフレーズ

未来につなげたい、大切な記憶

これは過去と現在、そして未来をつなぐキャッチフレーズです。私たちは、ハンセン病患者の隔離政策という悲しい記憶を忘れてはいけません。いつまでも語り継ぐことで、過ちを繰り返すことなく、偏見や差別のない未来へとつなげていくことができるはず。「子どもや孫たち、そしてその先まで続く未来のために、大切な記憶を未来へとつないでいけたら」。この願いを込めて、キャッチフレーズをつくりました。

制作者：和田 裕史

ロゴマーク

過去と現在における偏見や差別を乗り越えるための「未来への橋」が世界にかかる様子を表現しました。頭文字の「H」を横長に伸ばし、橋に見立てています。また、H(ハンセン病・ハンセン病療養所)にまつわる3つ表情・想いを踏襲しています。

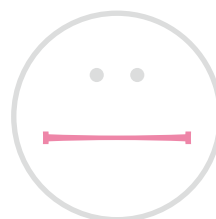
[くるしみ]

後遺症による身体的不自由だけでなく
社会の疾病に対する無知・無理解が偏見と差別を生み
回復者の心は深く傷つきました。



[さみしさ]

親族から隔離され、子孫を残す自由も失い、
家族との絆を奪われた回復者の心は孤独に陥りました。



[ねがい]

根治可能な特效薬を。隔離のない暮らしを。
そして、回復者の真の名誉回復を。
一人ひとりの人生に敬意と誠意を抱き
誰もが生きやすい世の中づくりに貢献していきます。



制作者：大森 剛



Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL